

産技研 第1期中期計画と第2期中期計画(案) 比較

第1期中期計画	第2期中期計画(案)
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 「提案型」の企業支援と「つなぐ」取組の推進</p> <p>(1) 「提案型」の企業支援による支援の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 提案型の企業支援に向けたサービス体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「顧客サービスセンター」(仮称)の設置・運営 <input type="checkbox"/> 顧客データベースの再構築、マニュアル化 <input type="checkbox"/> 企業トータル的に提案できる人材育成 ② 「でかける」活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現地相談、共同研究、講師派遣等でかける活動を推進 ③ ニーズの把握と顧客満足度の検証 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> マーケティングリサーチを定期的実施 <input type="checkbox"/> 企業経営者等との交流・情報交換の実施 ④ 積極的な情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> インターネット、電子メール、刊行物等の特性を活かし、最新の産技研の取組、施策情報、技術情報やイベント情報等を企業に提供 <input type="checkbox"/> 展示会等へのプロモーション活動や企業、金融機関、大学等向け見学会開催 <p>(2) 「つなぐ」取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 顧客データベースにおいて企業の強みと弱みと課題を整理 <input type="checkbox"/> MOBIOとの連携 <input type="checkbox"/> 「産技研顧客コミュニケーションサイト(仮称)」の新設 	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 中小企業の成長を支える多様な技術支援</p> <p>(1) 多様な技術相談とフォローアップの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 来所相談・現地相談に対する利用者アンケートによる満足度を把握しサービス向上に努める <input type="checkbox"/> 利用者の利便性向上や提案型サービスに繋がる多様な相談機会を提供 <p>(2) 高度な依頼試験や設備開放等の技術支援の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> オーダーメイド依頼試験や受託研究・簡易受託研究の利用拡大 <input type="checkbox"/> 計画的な設備機器更新や保守・校正により信頼性の高い試験結果を提供 <input type="checkbox"/> 機器選定はマーケティングリサーチにより企業ニーズを把握した上で、補助事業等も活用し、最新機器の導入に努める <input type="checkbox"/> 機器利用技術講習会やラボツアー等を開催 <p>(3) 中小企業の海外展開を支える電磁波関連試験(EMC)事業の拡充 ※調整中</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 国際規格(VLAC認定)に対応する新たな電波暗室を整備を進める <input type="checkbox"/> 国際展開を視野に入れたものづくり企業の研究開発を支援 <input type="checkbox"/> 公設試ならではのコンサルティング機能を活かした製品開発の強化 <input type="checkbox"/> 海外展開支援に関する相談会、セミナーを開催 <p>(4) 最適な知財戦略による企業支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 知財推進チームと連携した研修会の開催などの活動 <input type="checkbox"/> 研究開発の計画策定にあたっては知財化を意識し成果の権利化へ結びつける <input type="checkbox"/> 知財シーズ集の編纂。取得した知財の積極的な活用 <p>(5) 開放研究室を活用した起業・第二創業の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 入居企業との定期的な意見交換。インキュベーションマネージャー(仮称)の設置 <input type="checkbox"/> 入居企業の研究開発に協力し、大阪府や支援機関等との連携による経営支援、知財支援に取り組む。 <p>(6) 積極的な広報の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 課題解決に至った成果を事例集として発行、研究シーズや成果の見える化を図る <input type="checkbox"/> テクニカルシートに最新の技術動向、研究成果を掲載する等、内容の充実を図る <input type="checkbox"/> 展示会出展、研究発表・講習会、学会発表、論文投稿、HP等を通じた情報発信
<p>2 技術支援機能の強化</p> <p>(1) 新たなサービスの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 依頼試験…コメント付与、「特急制度(仮称)」の創設、オーダーメイド型サービス等 <input type="checkbox"/> 機器開放…インターネット予約、レンタルサービス、時間延長 <input type="checkbox"/> 受託研究…簡易受託研究 <input type="checkbox"/> 技術者育成…オーダーメイド型技術者育成 <p>(2) 既存サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 技術相談…「顧客サービスセンター(仮称)」の新設、インターネット・電子メールを活用した相談システム、外部機関とのネットワーク・連携強化 <input type="checkbox"/> 依頼試験…計画的な機器更新・校正による信頼性の高い試験結果の提供 <input type="checkbox"/> 設備機器の開放…テクニカルシート、機器利用講習会等 <input type="checkbox"/> 受託研究…複数年など企業の要望に併せて柔軟に対応 <input type="checkbox"/> 顧客の利便性向上…受託研究等の契約の簡素化・迅速化 <p>(3) 企業の新技術・製品開発のニーズに応える設備機器の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 企業ニーズや費用効果の高い設備機器を優先的に整備 <input type="checkbox"/> 機器センターを設置し、一連の設備機器利用を提案 <input type="checkbox"/> 機器利用技術講習会を定期的に開催 <p>(4) 基盤技術や成長分野の技術者育成等</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 技術講習会の開催、高度専門人材の育成、企業や大学からの研修生受入 <p>(5) インキュベーション施設を活用した企業化・中小企業等への成長支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> インキュベーション施設への入居促進、産技研によるきめ細かなサポート <p>(6) 技術支援のフォローアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 技術支援を行った企業の実用化・製品化、品質向上等の成果を把握しフォロー 	<p>2 大阪産業の発展を推進するための研究開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 受託研究、共同研究など「企業支援研究」に取り組む <input type="checkbox"/> 「大阪の成長戦略」に基づいたテーマをプロジェクト研究の課題として取り組む <input type="checkbox"/> あらゆる機会を通じて普及啓発、企業への技術移転に努める <input type="checkbox"/> ものづくりリエゾンセンターと研究職員が連携しながら企業への移転を目指す <p>(1) 多様な企業ニーズに応える「企業支援研究」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 企業と産技研が共同で実施する「企業支援研究」に重点的に取り組む <input type="checkbox"/> 先端技術産業の強化支援に取り組む <input type="checkbox"/> 企業と産技研が一体で行う共同研究・受託研究を「企業支援研究」と称し課題解決に取り組む <input type="checkbox"/> 公募型共同開発事業を継続して実施 <input type="checkbox"/> 研究シーズの有効性や課題解決の可能性を検証するプレ研究制度を創設 <p>(2) 産業技術を支える基盤研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 企業ニーズを把握し、これに応える基盤研究を実施 <input type="checkbox"/> 研究テーマ選定評価会(仮称)による適正なテーマ選定・評価 <p>(3) 産業拠点の形成につながる発展研究およびプロジェクト研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基盤研究で有効性を検証できた研究テーマを発展研究へと展開し実用化促進 <input type="checkbox"/> 戦略的に取り組むべきものについては産学官連携のコンソーシアムを結成しプロジェクト研究としてより発展的に研究を推進 <p>(4) 競争的外部資金を活用した研究開発の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 基盤研究、発展研究、プロジェクト研究の実施においても、積極的に競争的外部資金に応募し、獲得を目指す
<p>3 研究開発の推進</p> <p>(1) 戦略的テーマに関する研究開発</p> <p>① 研究開発の重点化</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 技術開発のロードマップ等に基づくテーマ設定 <input type="checkbox"/> 「プロジェクト研究」の創設、理事長裁量予算 <input type="checkbox"/> 外部資金の獲得 <p>② 企業への共同研究等の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 共同研究、産学官連携研究を企業へ積極的に提案・実施し、企業連携を強化 <p>③ 研究開発成果の評価と共有・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 評価結果に基づき研究継続の必要性や研究資源配分を実施 <p>(2) 研究開発成果の提案と技術移転</p> <p>① 研究開発成果の技術移転・情報発信の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 顧客データベースによる企業抽出、個別に技術移転 <input type="checkbox"/> 研究発表会の開催等積極的に情報発信 <p>② 大学の研究開発成果の橋渡し</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 府立大学との包括連携協定、共同研究の実施 <p>③ 知的財産権を活かした企業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 知的財産権の取得を進め、積極的に公開するとともに企業に活用を提案 	<p>3 ものづくり企業を支える人材の育成</p> <p>(1) 企業が求める人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> オーダーメイド型技術者研修、技術の普及、資格試験に備える実習型研修を実施 <input type="checkbox"/> 3次元データを取り扱える人材を育成し、業界への技術の定着を図る <p>(2) 大学等との連携による次世代を支える人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 大学、高専、学術団体、業界団体、府立高等職業技術専門校等と連携した人材育成 <input type="checkbox"/> 大学、高専等からインターンシップの学生を受け入れ <input type="checkbox"/> 教育機関からのインターンシップを企業に仲介

<p>4 連携の促進</p> <p>(1)行政機関、金融機関等との連携による多様な支援</p> <p>① 大阪府、MOBIO、デザインセンター、B2Bネットワークとの連携</p> <p>② 金融機関との連携</p> <p>③ 商工会議所との連携</p> <p>(2)産学官連携の推進</p> <p><input type="checkbox"/> 企業・業界団体・大学・学会等とのネットワークづくり</p> <p><input type="checkbox"/> 府立大学との包括連携協定に基づく共同事業の実施</p> <p>(3)広域連携の着実な推進</p> <p><input type="checkbox"/> 参加府県公設試との施設機器情報の共有・提供等の連携</p> <p>(4)地域との連携と社会貢献</p> <p><input type="checkbox"/> テクスステージ和泉内企業、南大阪技専校との連携</p> <p><input type="checkbox"/> 小・中・高校生を対象としたイベントの開催</p>	<p>4 関係機関との連携による支援等</p> <p>(1)技術支援の枠を超えた「伴走型支援」</p> <p><input type="checkbox"/> 事業者のフェーズに応じたタイムリーな支援に様々な支援機関と連携し取り組む</p> <p><input type="checkbox"/> 「オープンプラットフォーム」を構築し、伴走型支援を行う</p> <p><input type="checkbox"/> 担当の技術イノベーター(仮称)を配置</p> <p>(2)幅広い機関とのネットワークの構築</p> <p><input type="checkbox"/> 引き続き中小企業経営層への問題意識の把握に努め、産技研の運営に反映</p> <p><input type="checkbox"/> 下記の機関等と連携して、ワンストップ機能を向上し幅広い支援を行う</p> <p>(a) 府関連機関との連携</p> <p>(b) 金融機関との連携</p> <p>(c) 商工会議所等との連携</p> <p>(d) 国立研究開発法人産業技術総合研究所との連携</p> <p>(e) 公益社団法人産業安全技術協会との連携</p> <p><input type="checkbox"/> 企業・業界団体・大学・学会等とのさらなるネットワークづくり</p> <p><input type="checkbox"/> 大阪府立大学との包括連携協定に基づく共同事業の実施</p> <p><input type="checkbox"/> 大阪大学大学院との連携協定に基づく共同研究を推進</p> <p><input type="checkbox"/> 関西広域連合参加府県公設試との設備機器情報の共有・提供等の連携を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> 近隣の産業団地の企業、南大阪技専校との連携</p> <p><input type="checkbox"/> 地域住民を含めたイベントの開催</p> <p>(3)大阪市工業研究所との取組の推進 ※調整中</p> <p><input type="checkbox"/> 業務プロセスの共通化に係る取組</p> <p><input type="checkbox"/> 研究開発における連携の推進</p> <p><input type="checkbox"/> 技術支援サービスや情報発信等における連携の推進</p>
<p>5 大阪市立工業研究所との統合に向けた取組の推進</p> <p>(1)経営戦略の一体化に向けた取組</p> <p><input type="checkbox"/> 合同経営戦略会議の場を通じて、経営戦略という大きな方向性を一体的に決定</p> <p>(2)業務プロセスの共通化に向けた取組</p> <p><input type="checkbox"/> 機器購入・評価判定や研究テーマ選定、広報・顧客拡大に関する業務プロセスの共通化について検討し、実現可能なものから順次実施</p> <p>(3)研究開発における連携の推進</p> <p><input type="checkbox"/> 両研究所の得意分野を融合した高度な研究開発について検討・推進</p> <p>(4)技術支援サービスや情報発信等における連携の推進</p> <p><input type="checkbox"/> 共通技術相談窓口の設置、支援システムの料金・手続きの統一、各種システムの統一、サテライト研究室の開設、合同イベント・合同PR、合同職員研修について検討し、実現可能なものから順次実施</p>	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 自主的・自律的な組織運営</p> <p>(1)組織マネジメントの実行とPDCAサイクルの確立</p> <p><input type="checkbox"/> 経営企画を担当する部門を新たに設置、一人ひとりがPDCAサイクルを実践</p> <p>(2)予算執行や人事制度の効果的な運用</p> <p><input type="checkbox"/> 突発的な経費支出や複数年度にまたがる契約等にも柔軟に対応、外部人材活用</p> <p>(3)積極的な営業展開などを実施する組織体制</p> <p><input type="checkbox"/> 「顧客サービスセンター(仮称)」の新設</p> <p><input type="checkbox"/> 研究分野横断的課題においてプロジェクトチームを設置</p>
<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 自主的・自律的な組織運営</p> <p>(1)組織マネジメントの実行とPDCAサイクルの確立</p> <p><input type="checkbox"/> 経営企画を担当する部門を新たに設置、一人ひとりがPDCAサイクルを実践</p> <p>(2)予算執行や人事制度の効果的な運用</p> <p><input type="checkbox"/> 突発的な経費支出や複数年度にまたがる契約等にも柔軟に対応、外部人材活用</p> <p>(3)積極的な営業展開などを実施する組織体制</p> <p><input type="checkbox"/> 「顧客サービスセンター(仮称)」の新設</p> <p><input type="checkbox"/> 研究分野横断的課題においてプロジェクトチームを設置</p>	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 自主的・自律的な組織運営</p> <p>(1)機動性の高い組織体制</p> <p><input type="checkbox"/> 企業が産技研を利用する際のメリットを最大化するために、適宜人材の再配置等、柔軟に見直しを行う</p> <p>(2)PDCAサイクルによる組織マネジメント</p> <p><input type="checkbox"/> 各部署、チーム、一人ひとりがPDCAサイクルを実践</p>
<p>2 職場、職員の士気を高め、職員の能力を向上させる取組</p> <p>(1)人事評価の人事・給与への反映</p> <p><input type="checkbox"/> 地独法人に適した人事評価制度を確立し、人事評価を適切に実施し、評価結果を人事や給与に適切に反映</p> <p>(2)職員へのインセンティブ</p> <p><input type="checkbox"/> 予算の理事長裁量枠や支援実施に応じた重点配分、職員表彰、能力開発に結びつく研修等、インセンティブ程度を具体化</p> <p><input type="checkbox"/> 成功事例や研究開発成果、外部機関からの受賞や補助金の獲得等、職員の努力により得られた成果を公表し、組織として称える機会を設ける</p> <p>(3)職員の人材育成</p> <p><input type="checkbox"/> 大学、企業、研究機関等外部との交流を活発化</p> <p><input type="checkbox"/> 職員研修を計画的に実施、特に若手職員の育成に向け研修を充実</p> <p><input type="checkbox"/> 各種資格の取得を組織的に推進</p>	<p>2 業務運営の継続的向上のための取組</p> <p>(1)企業ニーズの把握と支援サービスの検証</p> <p><input type="checkbox"/> 顧客、支援団体、業界団体を通じて企業動向を入手</p> <p><input type="checkbox"/> 企業ニーズと支援サービスがマッチングしているかアンケートにより検証</p> <p>(2)研究開発成果の評価と共有化</p> <p><input type="checkbox"/> 研究の進捗状況について所内で共有化</p> <p><input type="checkbox"/> 研究開発の成果が企業に及ぼす効果を検証し、企業支援を効果的に実施</p> <p>(3)機器の効率的な整備</p> <p><input type="checkbox"/> 企業ニーズや費用対効果の高い設備機器を優先的に整備</p> <p><input type="checkbox"/> 大阪府の政策課題への対応に必要な設備機器を整備</p> <p><input type="checkbox"/> 利用が見込める企業、利用頻度、料金設定等、利用計画を策定</p> <p><input type="checkbox"/> 保守・校正点検等により精度を保持</p> <p>(4)業務の効率化</p> <p><input type="checkbox"/> 事務処理の簡素化、効率化の推進、顧客サービスのあり方検討、技術サポートセンターの設置</p>
<p>3 業務の効率化</p> <p><input type="checkbox"/> 財務会計、人事給与等のシステム構築</p> <p><input type="checkbox"/> 総務事務、施設管理の外部委託</p>	<p>3 優れた職員の確保と能力向上に向けた取組</p> <p>(1)多様な人材・雇用形態を取り入れた人事戦略</p> <p><input type="checkbox"/> 職員キャリアパスの作成・改良、主幹研究員制度を利用した組織マネジメント、柔軟な採用形態、外部人材の登用、地域の研究者・技術者のネットワーク</p> <p>(2)職員の意欲の喚起</p> <p><input type="checkbox"/> 理事長裁量枠による重点配分、インセンティブ制度・職員表彰制度の充実等</p>
<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 事業収入の確保</p> <p>2 外部資金の獲得</p> <p>3 予算の効果的な執行等</p>	<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 事業収入の確保</p> <p>2 予算の効率的な執行等</p>
<p>第4 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画</p> <p>1 予算(人件費の見積りを含む。)</p> <p>2 収支計画</p> <p>3 資金計画</p>	<p>第4 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画</p> <p>1 予算(人件費の見積りを含む。)</p> <p>2 収支計画</p> <p>3 資金計画</p>
<p>第5 短期借入金の限度額</p> <p>5億円</p>	<p>第5 短期借入金の限度額</p> <p>5億円</p>
<p>第6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>なし</p>	<p>第6 出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産の処分に関する計画</p> <p><input type="checkbox"/> 皮革試験所の機能集約に伴って不要財産となる土地・建物について、中期計画期間中に大阪府に現物納付する。</p>
<p>第7 剰余金の使途</p> <p>なし</p>	<p>第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画</p> <p>なし</p>
<p>第8 剰余金の使途</p> <p>なし</p>	<p>第8 剰余金の使途</p> <p>なし</p>
<p>第9 大阪府地方独立行政法人施行細則(平成17年大阪府規則第30号)第4条で定める事項</p> <p>1 施設の有効活用</p> <p>(1)施設の計画的な整備・活用等</p> <p>(2)設備機器の整備</p> <p>(3)安全衛生管理等の徹底</p> <p>(4)環境への配慮</p>	<p>第9 その他業務運営に関する重要事項の目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 施設の計画的な整備及び活用等</p> <p><input type="checkbox"/> 省エネ技術の導入、空き実験室や会議室等を多角的・柔軟に活用</p> <p>2 安全衛生管理等の徹底</p> <p>3 危機管理対策の推進・BPCの策定</p>
<p>2 法令遵守に向けた取組</p> <p>(1)コンプライアンスの徹底</p> <p>(2)情報公開</p> <p>(3)個人情報とセキュリティ</p> <p>(4)リスク管理</p>	<p>4 社会的責任の遂行</p> <p>(1)情報公開の徹底</p> <p>(2)個人情報の保護と情報セキュリティ</p> <p>(3)コンプライアンスの徹底</p> <p>(4)適切なリスク管理</p> <p>(5)環境に配慮した業務運営</p>
<p>第9 大阪府地方独立行政法人施行細則(平成17年大阪府規則第30号)第4条で定める事項</p> <p>1 施設及び設備に関する計画</p> <p>2 人事に関する計画</p> <p>3 中期目標を超える債務負担</p> <p>4 積立金処分に関する計画</p>	<p>第10 大阪府地方独立行政法人施行細則(平成17年大阪府規則第30号)第4条で定める事項</p> <p>1 施設及び設備に関する計画</p> <p>2 人事に関する計画</p> <p>3 中期目標を超える債務負担</p> <p>4 積立金処分に関する計画</p>